

授業科目

福祉用具演習I (移動機器)

担当教員名 勝平 純司	対象学年	1	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	○

授業の概要

移動機器についての理解を深め、利用者に適した移動機器の選択をするために機能評価、用具の操作方法を学ぶ。また代表的な移動機器である車いすの理解を深めるため、評価、適合について学び、更に分解、組み立て、調整について学ぶ。

授業の目的

移動機器の操作方法・適合・調整について、実際に演習を行い体感することで、利用者に適した移動機器用を選定することを目的とする。
また、実際の車いすを分解・整備することで車いすの理解をより深める。

学習目標

1. 移動機器の種類、定義、役割について説明できる。
2. 利用者に適した移動機器を選択できる。
3. 移動機器（車いす）の工学的基礎・構造が説明できる。
4. 車いすの分解組立、調整ができる。
5. 移動機器の選択、適合に必要な利用者の姿勢の評価ができる。
6. 移乗機器と選択、動作の評価ができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	起居演習（褥瘡の好発部位・ベットの機能）	講義および演習	勝平 純司
2	移乗演習（介助方法・介助力リフト）	講義および演習	勝平 純司
3	移乗演習（介助方法・介助力リフト）	講義および演習	勝平 純司
4	歩行補助用具演習（杖・歩行器・歩行車）	演習	勝平 純司
5	歩行補助用具演習（杖・歩行器・歩行車）	演習	勝平 純司
6	移動機器の工学的基礎	講義および演習	勝平 純司
7	車いすの選択、操作方法	講義および演習	勝平 純司 他
8	車いすの選択、操作方法	講義および演習	勝平 純司 他
9	車いすの採寸と適合・評価・介助	講義および演習	勝平 純司
10	車いすの採寸と適合・評価・介助	講義および演習	勝平 純司
11	車いす分解・整備	演習（外部講師）	勝平 純司
12	車いす分解・整備	演習（外部講師）	勝平 純司
13	車いす分解・整備	演習（外部講師）	勝平 純司
14	車いす分解・整備	演習（外部講師）	勝平 純司
15	電動車いす試乗	講義および演習・質疑応答（外部講師）	勝平 純司

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	車いすのヒューマンデザイン	田中 理、大鍋 寿一 監訳	医学書院	2000年	4,500円 +税	
	Introduction to Rehabilitation Engineering and Assistive Technology	R.A.Cooper、 H.Ohnabe、D.A.Hobson	Taylor and francis	2006年	6,700円 +税	

	福祉技術入門	後藤 芳一、足立 芳寛	Ohmsha	1998 年	4,515円 +税	
その他の資料	プリント					

評価方法

レポート100%

履修上の留意点

原則、授業の1/3を欠席した者は科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点、遅刻2回につき-5点を最終評価から減点する。

オフィスアワー・連絡先

研究室：L310

連絡先：katsuhira@nuhw.ac.jp

授業に関する質問等の連絡先については授業開始時に履修者にお知らせします。